

令和6年

足立区選挙管理委員会
第14回定例会会議要録

- 1) 開会年月日 令和6年7月16日(火)
- 2) 会議時間 午前10時00分～午前10時48分
- 3) 場 所 足立区役所南館12階 1203会議室
- 4) 出席委員
- | | |
|-----------|---------|
| 委 員 長 | 芦 川 武 雄 |
| 職 務 代 理 者 | 針 谷 幹 夫 |
| 委 員 | 新 井 英 生 |
| 委 員 | 古 野 香 織 |
- 5) 事務局職員
- | | |
|-----------|---------|
| 事 務 局 長 | 鳥 山 高 章 |
| 管 理 係 長 | 久 保 文 雅 |
| 選 挙 係 長 | 松 田 直 剛 |
| システム標準化 | |
| 担 当 係 長 | 高 城 直 人 |
| 管 理 係 主 査 | 下 山 洋 史 |
| 選 挙 係 主 査 | 齋 藤 雅 大 |
- 6) 傍 聴 者 0名

7) 会議要録

委員長 ただいまから、第14回足立区選挙管理委員会定例会を開催します。まず初めに第34号議案『在外選挙人名簿の登録および抹消について』を事務局から説明願います。

事務局長 第34号議案『在外選挙人名簿の登録および抹消について』説明。

委員長 このことについて何か質問はありますか。

各委員 なし

委員長 それでは第34号議案について、原案のとおりお認めいただける場合は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

委員長 挙手総員により、本議案は原案のとおり可決しました。続きまして、報告第22号『令和6年7月7日執行 東京都知事選挙・東京都議会議員補欠選挙の投開票結果について』を事務局から説明願います。

事務局長 報告第22号『令和6年7月7日執行 東京都知事選挙、東京都議会議員補欠選挙の投開票結果について』説明。また、報告第23号『令和6年7月7日執行 東京都知事選挙・東京都議会議員補欠選挙の期日前投票利用状況について』も併せて説明。

委員長 ただいまの報告につきまして、何か質問などございますでしょうか。

針谷委員 2つ質問があります。1つ目は、都議会議員選挙の投票率は振り幅があるよう記憶しておりますが、令和3年度よりも前にあった平成における投票率を教えてください。

事務局長 平成29年では50.92%、平成25年では44.78%、平成21年では55.76%、補欠選挙がありました平成19年では51.52%となっております。

針谷委員 分かりました。もう一つは、都議会議員補欠選挙の投票率が都知事選挙に対して低い理由に、前回話した入場整理券の問題があると思います。入場整理券を都知事選挙と都議会議員補欠選挙で2枚に分けて送ることは出来ないのでしょうか。

事務局長 投票率が低くなった理由については、今後分析をする必要はあると思いますが、今回の補欠選挙では、「選挙当日に補欠選挙はやらない」との声が多くありましたのでそれも影響しているかと思います。

針谷委員 都知事選挙の期日前投票をされた方から、入場整理券が無いから投票に行かないと声をいただき、前回防災無線で（入場整理券が無くても投票が出来ることを）放送してもらいましたが、やはり選挙が違うので、封筒にそれぞれの入場整理券を入れて送付する必要があると思います。今回、補欠選挙があった自治体の都知事選挙との投票率差はどのくらいあったのか、また、入場整理券を2枚送った自治体があったか伺いたいと思います。

選挙係長 投票率の差でいいますと、資料の31ページに都議補選挙が行われた自治体別の投票率がございます。また、資料の7ページに都知事選挙の自治体別投票率がありますので、この差で出すことが出来ますが、おおよそ2%ほど都知事選挙の投票率が高い傾向にあります。

対応策について各自治体に確認したのですが、入場整理券を2枚送った自治体については確認が出来ませんでした。

針谷委員 違う選挙のため、1つにまとめた入場整理券にするのではなく、入場整理券を2枚に分けるよう検討をしていただきたいと思います。

新井委員 確かに局長のおっしゃるとおり、補欠選挙について関心が無い方もいらしゃったのかもしれませんが、封筒の中に（入場整理券が無くても投票が出来ることについて）分かりやすく通知を入れるなど、より丁寧な対応をすべきだったと思います。

針谷委員 提案ですが、入場整理券に都知事選挙と都議会議員補欠選挙の判子を押す欄を設けて、都知事選挙のみ投票された方には都知事選挙のみ判子を押して返す、そうすれば入場整理券が手元に残るため、再度入場整理券を使って投票出来るとの認識が持てると思います。

事務局長 各自治体のやり方について伺っていますが、それが機能していたかを踏まえて検討させていただきたいと思います。

新井委員 同日選挙が行われると、今回のように投票出来る期間にズレが出るのでしょうか。

事務局長 選挙によって告示日が違うので、同日選挙になった時にズレが生じてしまいます。

管理係長 直近であった選挙ですと、石原都知事がお辞めになった年に、都知事選挙と衆議院選挙の同日選挙がありました。この時には5日のズレがありましたが、今回のような入場整理券に関するお問い合わせは無かったと記憶しております。ただ、委員の方からご指摘いただいた内容については、反省点とさせていただき次回に活かしていきたいと思います。

委員長 ありがとうございます。他に何かありますか。

古野委員 東京都知事選挙の年代別投票率を見ているのですが、全体の投票率として前回選挙から5%程上がっている事は良いことだと思う一方で、18歳、19歳、20歳代の投票率が他の年代に対して伸び率が低いことが気になりました。もしご存知であれば伺いたいのですが、東京都全体で見た場合も同じ傾向にあるのでしょうか。

事務局長 同じ傾向にあると思います。区内で一番投票率が高い文京区の68%においても、そのような傾向が見受けられます。

古野委員 足立区の投票率が23区中23位にあり、特に10代や20代の投票率が他の世代と比べて上がっていないことについて、問題分析が必要なのではないかと思いました。何故、他の世代に対して伸び率が低いのか分析したいと言うのと、出前授業や期日前投票の在り方を含めて、当事者の声を入れていく事が大事なのではないかと思います。他の部署でやっている若者会議にこのような議題をあげて一緒に考えられるような機会を作っていたらと我々としても要因分析が進むと思います。当事者に届く施策が何なのか考えるべきタイミングに来ていると思いますので、この点について相談させていただきたいと思います。

また、10代や20代に対してはSNSの発信でアウトリーチすることが大切だと思います。足立区でも公式X（旧：Twitter）で頻度高く発信していることは存じ上げているのですが、Xを使っている世代の10代はインスタグラムを多く使っていて、Xを使っているも、足立区の公式アカウントを見たことが無いと言う方が多いと思います。本当に届く施策になっているのか、改めて考えられると良いのではないかと感じました。今後は、インスタグラムを含めて発信について本格的に検討していただけたら良いのかなと思いました。

事務局長 当事者の声については、区の方で子どもの計画を作るのに若者の声を聴く機会があるので、そこで話すことは出来るかと思います。また、選管委員の皆様との懇談会も開くことは出来るかと思いますので、今後調整させていただければと思います。

古野委員 それは、若者会議とは別ですか。

事務局長 若者会議とは別のものとなりますが、出来る事が何なのかを含めて調整したいと思います。

管理係長 足立区のX公式アカウントを登録されている方は約3万4千人で、期日前投票の最終日に投稿した際の閲覧数が約7千回ありました。それ以外にも、およそ5千回で推移しております。先日ありました中川小学校の出前授業の投稿は2千回弱でしたので、選挙期間中はよく見られていたのだと思います。先程ご指摘いただいたSNSの媒体について、中学生に聞いたのですが、TikTokやインスタグラムを子ども達は使っていて、今後こういった媒体でもやっていけるのか検討したいと思います。

古野委員 他の選管でインスタグラムで発信している所はありますか。

管理係長 調べたのですが、そもそもXでもあまり更新されていない所もあります。来週末に23区での集まりがありますので伺いたいと思います。

古野委員 ありがとうございます。これだけ23区で最下位が続いているので、何かやっていければと思ってまして、特に10代や20代について小さな所からでも施策に移していければと思います。最後に、20代の投票率が一括りになっていますが、20代の特に低い年齢層をお伺い出来ればと思います。それにより施策が変わるものだと思います。

事務局長 20歳では女性が35.69%、男性が40.04%、21歳から24歳では女性が35.46%、男性が37.16%、25歳から29歳では、男性が40.99%、女性が43.82%です。20歳では女性が低くて段々女性の投票率が高くなり、その後、どの年代でもおおよそ女性の投票率が高く出ている傾向にあります。

古野委員 それはどのような要因が考えられますか。

委員長 実態は分かりませんが、区議区長選挙の時に子育て世代の30代の投票率が伸びたように、自分の生活に関心ある政権や候補者が出てくれば投票率に影響が出てくる可能性はあるかと思います。

古野委員 今後20歳での女性の投票率が低いことや若者の投票率が低いことについて要因分析を進めて行ければ良いかなと思いました。

委員長 ありがとうございました。他に何かございますでしょうか。無いようですので、報告第24号『会議等の日程について』を事務局から説明願いま

す。

管理係長 報告第24号『会議等の日程について』説明

委員長 このことについて何か質問はありますか。

各委員 なし

委員長 「その他」について何かありますでしょうか。

事務局長 席上に配付させていただきました、「古野委員の拙速な失職手続きを行わないように求める緊急要望」に関するご報告について、緊急要望に対する回答をまとめさせていただきましたので、今回委員会に提出させていただきます。黒の太枠で囲われている1から3番が緊急要望の内容で、それに対しての事務局としての報告をまとめさせていただいております。4番につきましては、経過と併せて事務局の認識について入れさせていただいております。今回、報告書と言う形で事務局としての考え方をご報告させていただきます。これを受けて、委員会としてどのように返されるかを皆様にご判断いただきたいと思います。また、ホームページの内容についても同時に一緒に考えさせていただければと思いますので、よろしくお願いします。

委員長 事務局長からの説明について何かございますでしょうか。

針谷委員 今は報告書ということで説明を受けている訳ではなく、議論や検討することは出来ないので、次回以降、選挙管理委員会としての回答にするのか検討すべきだと思います。

委員長 では、今後委員会の中で決めていくという事でよろしいでしょうか。

新井委員 今後の定例会の中で議題として取り上げるという事ですか。

委員長 議題ではなく、その他の中で話しになるのではないのでしょうか。

針谷委員 議題とせざるを得ないと思います。要望書に対する回答をしていないので。議論はその他でも良いですが、議題として選挙管理委員会として、鳥山局長からの見解について良いのかどうか審議する方向になるかだと思います。

委員長 では、流れはそう言う方向で、まずは報告書をお持ち帰りいただいて、今後この場で検討していければと思います。

新井委員 目途はどのくらいですか。

事務局長 緊急要望の提出があったのが、3月下旬なので、早めの回答が望ましいかと思います。

委員長 では、9月末を目途に出来ればと思います。これでは、第14回足立区選挙管理委員会定例会を閉会いたします。

終了時刻 午前10時48分